

平成28年度

財務諸表

第9期

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月 31日

全国健康保険協会

健康保険勘定

【健康保険勘定】

貸借対照表

平成29年3月31日現在
(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 流動資産		
現金及び預金	1,893,013,944,979	
未収入金	496,253,291,993	
前払費用	145,981,255	
未収収益	986,301	
被保険者貸付金	44,133,184	
その他	819,907	
貸倒引当金	△ 4,713,169,014	
流動資産合計		2,384,745,988,605
II 固定資産		
1 有形固定資産		
建物	2,032,809,694	
車両	3	
工具備品	33,880,603	
リース資産	14,570,855,933	
有形固定資産合計	16,637,546,233	
2 無形固定資産		
ソフトウェア	6,913,081,159	
ソフトウェア仮勘定	441,304,819	
無形固定資産合計	7,354,385,978	
3 投資その他の資産		
敷金	8,082,600	
投資その他の資産合計	8,082,600	
固定資産合計		24,000,014,811
資産合計		2,408,746,003,416

(単位：円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 流動負債		
未払金	614,513,253,478	
未払費用	852,943,964	
預り補助金	75,000	
預り金	58,182,211	
前受収益	7,690,182,433	
短期リース債務	5,254,724,952	
仮受金	224,880	
賞与引当金	1,196,181,966	
役員賞与引当金	7,218,859	
流動負債合計		629,572,987,743
II 固定負債		
長期未払金	1,191,460,863	
長期リース債務	6,500,511,863	
資産除去債務	183,363,236	
退職給付引当金	17,941,802,452	
役員退職手当引当金	38,759,631	
固定負債合計		25,855,898,045
負債合計		655,428,885,788
純資産の部		
I 資本金		
政府出資金	6,594,277,976	
資本金合計		6,594,277,976
II 健康保険法第160条の2の準備金		
準備金	1,267,151,018,642	
準備金合計		1,267,151,018,642
III 利益剰余金		
当期末処分利益	479,571,821,010	
(うち当期純利益)	(479,571,821,010)	
利益剰余金合計		479,571,821,010
純資産合計		1,753,317,117,628
負債・純資産合計		2,408,746,003,416

【健康保険勘定】

損益計算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額		
経常費用			
事業費用			
保険給付費			5,599,398,399,194
拠出金等			
前期高齢者納付金	1,488,361,106,344		
後期高齢者支援金	1,769,876,383,815		
退職者給付拠出金	109,348,213,306		
病床転換支援金	11,010,517	3,367,596,713,982	
介護納付金			950,343,269,666
業務経費			
保険給付等業務経費			
人件費	9,414,498,524		
福利厚生費	16,772,146		
委託費	5,144,673,119		
郵送費	2,812,876,990		
減価償却費	2,176,743,865		
その他	677,370,184	20,242,934,828	
レセプト業務経費			
人件費	4,644,048,151		
福利厚生費	10,731,942		
委託費	1,762,730,358		
郵送費	409,895,577		
減価償却費	1,298,749,703		
その他	76,057,215	8,202,212,946	
保健事業経費			
人件費	4,904,946,427		
福利厚生費	10,878,302		
健診費用	88,692,952,730		
委託費	3,987,738,106		
郵送費	1,205,800,116		
減価償却費	1,300,840,913		
その他	1,276,551,159	101,379,707,753	
福祉事業経費		525,060	
その他業務経費		1,995,208,053	131,820,588,640
一般管理費			
人件費		4,456,323,443	
福利厚生費		4,400,180	
一般事務経費			
委託費	2,812,447,607		
賃借料	153,893,393		
地代家賃	2,598,861,533		
修繕費	2,790,889,410		
その他	1,107,824,694	9,463,916,637	
減価償却費		3,180,699,772	
貸倒引当金繰入額		658,087,756	
その他		109,666,582	17,873,094,370
事業費用合計			10,067,032,065,852

(単位：円)

科 目	金 額		
事業外費用			
財務費用			
支払利息	231,362,401	231,362,401	
雑損		896,475	
事業外費用合計			232,258,876
経常費用合計			10,067,264,324,728
経常収益			
事業収益			
保険料等交付金収益		9,111,022,543,000	
任意継続被保険者保険料収益		75,263,651,982	
国庫補助金収益		1,335,514,543,184	
国庫負担金収益		6,959,957,000	
保険給付返還金収入		909,725	
診療報酬返還金収入		209,792,126	
返納金収入		6,710,982,081	
損害賠償金収入		6,880,902,088	
抛出金等返還金収入		52,674,438	
解散健康保険組合承継金		4,200,477,800	
その他		100,719,594	
事業収益合計			10,546,917,153,018
事業外収益			
財務収益			
受取利息	12,136,985	12,136,985	
雑益		7,531,323	
事業外収益合計			19,668,308
経常収益合計			10,546,936,821,326
経常利益			479,672,496,598
特別損失			
固定資産除却損		100,094,062	100,094,062
税引前当期純利益			479,572,402,536
法人税、住民税及び事業税			581,526
当期純利益			479,571,821,010

【健康保険勘定】

キャッシュ・フロー計算書

自 平成28年4月1日
 至 平成29年3月31日
 (単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
保険給付費支出	△ 5,596,495,896,757
拠出金等支出	△ 3,396,744,778,156
介護納付金支出	△ 946,181,136,666
国庫補助金返還金支出	△ 3,028,625,816
被保険者貸付金支出	△ 182,882,100
人件費支出	△ 23,046,587,777
その他の業務支出	△ 120,339,021,742
保険料等交付金収入	9,067,037,483,000
任意継続被保険者保険料収入	76,902,372,745
国庫補助金収入	1,337,743,978,000
国庫負担金収入	6,959,957,000
拠出金等返還金収入	93,062,694
被保険者貸付返済金収入	197,505,530
その他の業務収入	16,898,307,334
小計	419,813,737,289
利息の支払額	△ 235,754,508
利息の受取額	183,621,916
法人税等の支払額	△ 622,611
業務活動によるキャッシュ・フロー	419,760,982,086
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	200,000,000,000
有形固定資産の取得による支出	△ 168,312,698
無形固定資産の取得による支出	△ 737,903,853
その他の投資活動による収入	116,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	199,093,899,849
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△ 4,931,652,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,931,652,011
IV 資金の増加額	613,923,229,924
V 資金期首残高	1,079,090,715,055
VI 資金期末残高	1,693,013,944,979

【健康保険勘定】

利益の処分に関する書類

(単位：円)

科 目	金 額
I 当期末処分利益	479,571,821,010
当期純利益	479,571,821,010
II 利益処分量	479,571,821,010
健康保険法第160条の2の準備金繰入額	479,571,821,010
III 次期繰越利益	-

上記の利益処分を行った場合、純資産の部の健康保険法第160条の2の準備金残高は 1,746,722,839,652円となります。

なお、健康保険法第160条の2の準備金として積み立てなければならない金額は 695,111,251,165円であります。

注 記 事 項

I 財務諸表作成の根拠法令

全国健康保険協会の財務及び会計に関する省令（平成 20 年 9 月 26 日厚生労働省令第 144 号）に定める基準により作成しております。

II 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	8～18年
車両	3年
工具備品	2～20年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、協会内利用のソフトウェアについては、協会内における利用可能期間（主に 5 年）に基づいております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

2. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

なお、健康保険法等の一部を改正する法律（平成 18 年 6 月 21 日法律第 83 号）附則第 15 条第 3 項の規定により協会の職員として採用された社会保険庁の職員について、同法附則第 16 条第 2 項の規定に基づき、国家公務員退職手当法（昭和 28 年 8 月 8 日法律第 182 号）第 2 条第 1 項に規定する職員（同条第 2 項の規定により職員とみなされる者を含む。）としての引き続いた在職期間を協会の職員としての在職期間とみなすことにより計上される額に相当する額についても、併せて計上しております。

- ① 退職給付見込額の期間帰属方法
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
- ② 数理計算上の差異の費用処理方法
数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。
- (5) 役員退職手当引当金
役員に対して支給する退職手当に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
3. 健康保険法第160条の2の準備金の計上基準
健康保険事業に要する費用の支出に備えるため、健康保険法施行令（大正15年6月30日勅令第243号）第46条に定める基準により、計上しております。
4. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期日の到来する短期投資としております。
5. 消費税等の会計処理
税込方式によっております。

III 貸借対照表関係

有形固定資産の減価償却累計額 15,066,803,717 円

IV 損益計算書関係

該当事項は、ありません。

V キャッシュ・フロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金	1,893,013,944,979 円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△200,000,000,000 円
資金期末残高	1,693,013,944,979 円

2. 重要な非資金取引の内容

- (1) 当事業年度に新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ3,212,257,990円であります。
- (2) 当事業年度に新たに計上した資産除去債務に係る負債の額は、172,643,852円であります。

VI 金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当協会は、資金運用については、健康保険法施行令（大正 15 年 6 月 30 日勅令第 243 号）第 1 条に定める金融商品に限定しております。

未収債権等については、当協会の定める債権管理方法に従って、財務状況の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

リース取引は、設備投資等に係るものです。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	1,893,013,944,979	1,893,013,944,979	—
(2) 未収入金 貸倒引当金	496,253,291,993 △4,713,169,014		
	491,540,122,979	491,540,122,979	—
(3) 被保険者貸付金	44,133,184	44,133,184	—
資産計	2,384,598,201,142	2,384,598,201,142	—
(1) 未払金	614,513,253,478	614,513,253,478	—
(2) リース債務	11,755,236,815	11,855,820,656	100,583,841
負債計	626,268,490,293	626,369,074,134	100,583,841

(注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未収入金

回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しており、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しているため、当該価額をもって時価としております。

(3) 被保険者貸付金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

負 債

(1) 未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) リース債務

元利金の合計額を、新規に同様の割賦又はリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

VII 退職給付関係

1. 採用している退職給付制度の概要

当協会は、職員の退職給付に充てるため、退職一時金制度（非積立型の確定給付制度）を採用しております。

退職一時金制度では、退職給付として、勤続年数及び等級に基づく累積ポイント並びに退職事由に基づき決定された一時金を支給します。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	20,110,213,956 円
勤務費用	1,151,489,173 円
利息費用	22,120,615 円
数理計算上の差異の発生額	665,376,427 円
退職給付の支払額	△680,811,180 円
退職給付債務の期末残高	21,268,388,991 円

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

非積立型制度の退職給付債務	21,268,388,991 円
未積立退職給付債務	21,268,388,991 円
未認識数理計算上の差異	△3,326,586,539 円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	17,941,802,452 円

退職給付引当金	17,941,802,452 円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	17,941,802,452 円

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	1,151,489,173 円
利息費用	22,120,615 円
数理計算上の差異の費用処理額	218,954,418 円
確定給付制度に係る退職給付費用	1,392,564,206 円

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎
割引率 0.11%

VIII 資産除去債務関係

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

(1) 当該資産除去債務の概要

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産のリース期間満了に伴う撤去費用等に関し資産除去債務を計上しております。

(2) 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を当該リース資産のリース期間（3～5年）と見積り、割引率は当該リース期間に見合う国債の流通利回り（0～0.408%）を使用して資産除去債務の金額を算定しております。

(3) 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	10,719,384円
有形固定資産の取得に伴う増加額	172,643,852円
時の経過による調整額	－円
資産除去債務の履行による減少額	－円
期末残高	183,363,236円

IX 重要な債務負担行為

翌事業年度以降に履行となる重要な債務負担行為の額は以下のとおりであります。

件名	翌事業年度以降の支払予定額
全国健康保険協会健康保険システム基盤に係るハードウェア・ソフトウェアの維持管理費	4,362,579,830円
全国健康保険協会LAN環境及び端末等の維持管理費	3,163,924,071円
全国健康保険協会健康保険システム適用・徴収・現金給付等アプリケーション保守業務	1,207,738,080円
全国健康保険協会健康保険システム保健事業アプリケーション保守業務	363,000,858円
全国健康保険協会健康保険システムレセプト点検アプリケーション保守業務	315,351,241円
全国健康保険協会健康保険システム情報系アプリケーション保守業務	138,043,932円
全国健康保険協会システム基盤運用保守・アプリケーション運用業務	4,100,554,800円
本部・支部事務所賃料等	874,158,171円
合計	14,525,350,983円

X 重要な後発事象

該当事項は、ありません。

XI その他の注記事項

東日本大震災に係る補助金について

東日本大震災の被災者に対して実施した平成28年度全国健康保険協会災害臨時特例補助金交付要綱（平成28年4月1日厚生労働省発保0401第3号厚生労働事務次官通知）の3及び平成28年度東日本大震災復旧・復興に係る全国健康保険協会特定健康診査国庫補助金交付要綱（平成28年6月9日厚生労働省発保0609第9号厚生労働事務次官通知）の3に定める

事業に係る国庫補助金受入額並びにその使用状況は以下のとおりであります。

(単位：円)

対象事業	受入額	使用状況 (*1)	残額 (*2)
医療保険事業	1,776,544,000	1,776,544,000	0
特定健診事業	83,000	8,000	75,000
合 計	1,776,627,000	1,776,552,000	75,000

(*1) 健康保険における一部負担金等の免除、特定健康診査に係る自己負担金の免除等による費用であり、保険給付費及び健診費用として計上しております。なお、金額については、開示時点における概算額によっております。

(*2) 国庫補助金の未使用額は、翌事業年度以降に返還が見込まれるため、預り補助金として負債に計上しております。また、前事業年度の未使用額については、当事業年度に 437,000 円を返還し、前事業年度に計上した預り補助金（期首残高 437,000 円）を全額取崩ししております。

附属明細書

(健康保険勘定)

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細
2. 引当金の明細
3. 資本金、準備金、積立金及び剰余金の明細
4. 国等からの財源措置等の明細
5. 役員及び職員の給与費の明細

【健康保険勘定】

附 属 明 細 書

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却 累計額	当期償却額	差引期末 帳簿価額	摘 要
有形固定資産	建物	2,484,723,657	140,966,641	113,627,067	2,512,063,231	479,253,537	240,769,535	2,032,809,694	
	車両	2,221,282	-	-	2,221,282	2,221,279	-	3	
	工具備品	159,465,513	16,857,376	5,811,139	170,511,750	136,631,147	7,782,883	33,880,603	
	リース資産	24,449,154,550	4,570,399,137	-	29,019,553,687	14,448,697,754	6,000,363,935	14,570,855,933	注 1
	建設仮勘定	15,979,680	-	15,979,680	-	-	-	-	
	計	27,111,544,682	4,728,223,154	135,417,886	31,704,349,950	15,066,803,717	6,248,916,353	16,637,546,233	
無形固定資産	ソフトウェア	8,382,203,736	1,867,494,982	6,391,764	10,243,306,954	3,330,225,795	1,719,407,896	6,913,081,159	注 2
	ソフトウェア仮勘定	127,149,804	441,304,819	127,149,804	441,304,819	-	-	441,304,819	注 3
	計	8,509,353,540	2,308,799,801	133,541,568	10,684,611,773	3,330,225,795	1,719,407,896	7,354,385,978	

(注 1) 当期増加額は、全国健康保険協会システム基盤に係るハードウェア・ソフトウェア賃貸借一式によるもの(3,768,330,681円)等であります。

(注 2) 当期増加額は、全国健康保険協会機能改善を目的としたシステム改修(適用・徴収、現金給付、債権管理)によるもの(306,223,740円)等であります。

(注 3) 当期増加額は、全国健康保険協会番号制度対応のための環境構築によるもの(441,304,819円)であります。

2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
貸倒引当金	4,255,433,229	4,572,255,018	200,351,971	3,914,167,262	4,713,169,014	注 1
賞与引当金	1,120,150,127	1,196,181,966	1,120,150,127	-	1,196,181,966	
役員賞与引当金	7,780,096	7,218,859	7,780,096	-	7,218,859	
退職給付引当金	17,230,049,426	1,392,564,206	680,811,180	-	17,941,802,452	
役員退職手当引当金	39,627,261	6,843,870	7,711,500	-	38,759,631	
計	22,653,040,139	7,175,063,919	2,016,804,874	3,914,167,262	23,897,131,922	

(注 1) 当期減少額のその他は、洗替法による戻入額を計上しております。

3. 資本金、準備金、積立金及び剰余金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
資本金					
政府出資金	6,594,277,976	-	-	6,594,277,976	
健康保険法第160条の2の準備金	839,720,339,086	427,430,679,556	-	1,267,151,018,642	注1
利益剰余金					
当期末処分利益	427,430,679,556	479,571,821,010	427,430,679,556	479,571,821,010	

(注1) 当期増加額は、前期利益処分による繰入額であります。

4. 国等からの財源措置等の明細

(単位：円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳		摘 要
		前受交付金計上	収益計上	
保険給付費等補助金	1,055,331,704,000	-	1,055,331,704,000	
後期高齢者医療費支援金補助金	122,769,047,000	-	122,769,047,000	
特定健康診査・保健指導国庫補助金	1,925,040,000	-	1,925,040,000	
特定健康診査・保健指導国庫補助金（東日本大震災分）	8,000	-	8,000	
介護納付金補助金	155,733,036,000	-	155,733,036,000	
災害臨時特例補助金（医療保険）	1,776,544,000	-	1,776,544,000	
社会保障・税番号制度システム整備費補助金	921,802,000	-	921,802,000	
事務費負担金	6,959,957,000	-	6,959,957,000	
計	1,345,417,138,000	-	1,345,417,138,000	

5. 役員及び職員の給与費の明細

(単位：円、人)

区 分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	(10,043,231) 86,703,047	(3) 5	(-) 7,711,500	(-) 1
職 員	(6,754,054,420) 12,439,150,595	(3,104) 2,053	(-) 680,811,180	(-) 60
計	(6,764,097,651) 12,525,853,642	(3,107) 2,058	(-) 688,522,680	(-) 61

(注1) 役員に対する報酬等の支給基準は、全国健康保険協会役員報酬規程及び全国健康保険協会役員退職手当規程によっております。

(注2) 職員に対する給与及び退職手当の支給基準は、全国健康保険協会職員給与規程及び全国健康保険協会職員退職手当規程、全国健康保険協会契約職員給与規程、全国健康保険協会臨時職員給与規程によっております。

(注3) 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。

なお、健康保険勘定、船員保険勘定を兼務する役員及び職員の報酬又は給与、退職手当については、各勘定に共通する経費として按分計上しておりますが、支給人員数は全て健康保険勘定に含めて記載しております。

(注4) 非常勤の役員及び職員は、外数として()で記載しております。

(注5) 役員の支給人員数は、非常勤理事の退任(11月)に伴い、後任者が常任理事となったため、期末現在の人数と異なります。

船員保險勘定

【船員保険勘定】

貸借対照表

平成29年3月31日現在
(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 流動資産		
現金及び預金	45,159,778,345	
未収入金	3,000,085,296	
前払費用	42,285	
貸倒引当金	△ 210,593,241	
流動資産合計		47,949,312,685
II 固定資産		
1 有形固定資産		
建物	10,282,210	
工具備品	6,516,646	
有形固定資産合計	16,798,856	
2 無形固定資産		
ソフトウェア	155,582,436	
無形固定資産合計	155,582,436	
固定資産合計		172,381,292
資産合計		48,121,693,977

(単位：円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 流動負債		
未払金	3,198,866,744	
未払費用	8,804,126	
預り補助金	338,000	
前受収益	129,398,142	
賞与引当金	27,786,585	
役員賞与引当金	1,455,916	
流動負債合計		3,366,649,513
II 固定負債		
退職給付引当金	455,773,052	
役員退職手当引当金	610,369	
固定負債合計		456,383,421
負債合計		3,823,032,934
純資産の部		
I 資本金		
政府出資金	465,124,590	
資本金合計		465,124,590
II 船員保険法第124条の準備金		
準備金	41,362,514,743	
準備金合計		41,362,514,743
III 利益剰余金		
当期末処分利益	2,471,021,710	
(うち当期純利益)	(2,471,021,710)	
利益剰余金合計		2,471,021,710
純資産合計		44,298,661,043
負債・純資産合計		48,121,693,977

【船員保険勘定】

損益計算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額		
経常費用			
事業費用			
保険給付費			26,867,034,057
拠出金等			
前期高齢者納付金	3,182,290,324		
後期高齢者支援金	6,301,239,019		
老人保健拠出金	175,502		
退職者給付拠出金	433,662,210		
病床転換支援金	38,298		9,917,405,353
介護納付金			3,110,696,481
業務経費			
保険給付等業務経費			
人件費	280,597,262		
福利厚生費	351,526		
委託費	5,417,528		
郵送費	20,245,928		
減価償却費	29,039,533		
その他	38,821,042	374,472,819	
レセプト業務経費			
人件費	33,938,043		
福利厚生費	70,833		
委託費	4,874,687		
郵送費	745,164		
減価償却費	7,909,644		
その他	517,356	48,055,727	
保健事業経費			
健診費用	296,013,128		
委託費	230,168,155		
郵送費	9,834,546		
その他	7,719,606	543,735,435	
福祉事業経費			
福祉事業給付金	1,485,832,908		
委託費	201,964,625		
郵送費	1,904,728		
減価償却費	3,664,826		
その他	3,171,320	1,696,538,407	
その他業務経費		22,818,831	2,685,621,219
一般管理費			
人件費		118,064,162	
福利厚生費		99,217	
一般事務経費			
委託費	152,054,220		
地代家賃	87,173,323		
その他	115,630,350	354,857,893	
減価償却費		1,474,453	
貸倒引当金繰入額		21,599,396	
その他		1,100,640	497,195,761

(単位：円)

科 目	金 額		
事業費用合計			43,077,952,871
経常費用合計			43,077,952,871
経常収益			
事業収益			
保険料等交付金収益		35,619,000,000	
疾病任意継続被保険者保険料収益		1,206,252,100	
職務上年金給付費等交付金		5,366,346,206	
国庫補助金収益		2,836,701,000	
国庫負担金収益		163,247,000	
診療報酬返還金収入		77,758	
返納金収入		61,782,438	
損害賠償金収入		27,017,126	
その他		900	
事業収益合計			45,280,424,528
事業外収益			
財務収益			
受取利息	362,777		
金銭の信託売却益	261,362,920		
金銭の信託運用益	7,895,446	269,621,143	
雑益		221,799	
事業外収益合計			269,842,942
経常収益合計			45,550,267,470
経常利益			2,472,314,599
特別損失			
固定資産除却損		1,287,015	1,287,015
税引前当期純利益			2,471,027,584
法人税、住民税及び事業税			5,874
当期純利益			2,471,021,710

【船員保険勘定】

キャッシュ・フロー計算書

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日
(単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
保険給付費支出	△ 26,831,001,209
拠出金等支出	△ 10,069,472,354
介護納付金支出	△ 3,112,667,481
国庫補助金返還金支出	△ 432,498,794
被保険者貸付金支出	△ 146,700
人件費支出	△ 402,078,547
その他の業務支出	△ 2,731,605,226
保険料等交付金収入	35,536,000,000
疾病任意継続被保険者保険料収入	1,262,339,217
国庫補助金収入	8,586,967,000
国庫負担金収入	163,247,000
拠出金等返還金収入	1
被保険者貸付返済金収入	146,700
その他の業務収入	365,011,658
小計	2,334,241,265
利息の受取額	362,777
法人税等の支払額	△ 6,289
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,334,597,753
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
金銭の信託の減少による収入	28,903,824,371
無形固定資産の取得による支出	△ 68,644,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,835,179,571
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV 資金の増加額	31,169,777,324
V 資金期首残高	13,990,001,021
VI 資金期末残高	45,159,778,345

【船員保険勘定】

利益の処分に関する書類

(単位：円)

科 目	金 額
I 当期末処分利益	2,471,021,710
当期純利益	2,471,021,710
II 利益処分類	2,471,021,710
船員保険法第124条の準備金繰入額	2,471,021,710
III 次期繰越利益	-

上記の利益処分を行った場合、純資産の部の船員保険法第124条の準備金残高は 43,833,536,453円となります。

注 記 事 項

I 財務諸表作成の根拠法令

全国健康保険協会の財務及び会計に関する省令（平成 20 年 9 月 26 日厚生労働省令第 144 号）に定める基準により作成しております。

II 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	13～15 年
工具備品	5～15 年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、協会内利用のソフトウェアについては、協会内における利用可能期間（主に 5 年）に基づいております。

2. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

なお、雇用保険法等の一部を改正する法律（平成 19 年 4 月 23 日法律第 30 号）附則第 26 条第 3 項の規定により協会の職員として採用された社会保険庁の職員について、同法附則第 27 条第 2 項の規定に基づき、国家公務員退職手当法（昭和 28 年 8 月 8 日法律第 182 号）第 2 条第 1 項に規定する職員（同条第 2 項の規定により職員とみなされる者を含む。）としての引き続いた在職期間を協会の職員としての在職期間とみなすことにより計上される額に相当する額についても、併せて計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

(5) 役員退職手当引当金

役員に対して支給する退職手当に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

3. 船員保険法第124条の準備金の計上基準

船員保険事業に要する費用の支出に備えるため、船員保険法施行令（昭和28年8月31日政令第240号）第28条に定める基準により、計上しております。

4. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期日の到来する短期投資としております。

5. 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

III 貸借対照表関係

有形固定資産の減価償却累計額 12,889,815 円

IV 損益計算書関係

該当事項は、ありません。

V キャッシュ・フロー計算書関係

資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金	45,159,778,345 円
資金期末残高	45,159,778,345 円

VI 金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当協会は、資金運用については、健康保険法施行令（大正15年6月30日勅令第243号）第1条に定める金融商品に限定しております。

未収債権等については、当協会の定める債権管理方法に従って、財務状況の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	45,159,778,345	45,159,778,345	
(2) 未収入金	3,000,085,296		
貸倒引当金	△210,593,241		
	2,789,492,055	2,789,492,055	
資産計	47,949,270,400	47,949,270,400	
(1) 未払金	3,198,866,744	3,198,866,744	
負債計	3,198,866,744	3,198,866,744	

(注)金融商品の時価の算定方法に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未収入金

回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しており、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しているため、当該価額をもって時価としております。

負 債

(1) 未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

VII 退職給付関係

1. 採用している退職給付制度の概要

当協会は、職員の退職給付に充てるため、退職一時金制度（非積立型の確定給付制度）を採用しております。

退職一時金制度では、退職給付として、勤続年数及び等級に基づく累積ポイント並びに退職事由に基づき決定された一時金を支給します。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	499,916,812 円
勤務費用	27,225,424 円
利息費用	550,529 円
数理計算上の差異の発生額	△2,246,529 円
退職給付の支払額	△103,320 円
退職給付債務の期末残高	525,342,916 円

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前

払年金費用の調整表

非積立型制度の退職給付債務	525,342,916 円
未積立退職給付債務	525,342,916 円
未認識数理計算上の差異	△69,569,864 円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	455,773,052 円
退職給付引当金	455,773,052 円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	455,773,052 円

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	27,225,424 円
利息費用	550,529 円
数理計算上の差異の費用処理額	4,016,138 円
確定給付制度に係る退職給付費用	31,792,091 円

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎
割引率 0.11%

VIII 重要な債務負担行為

該当事項は、ありません。

IX 重要な後発事象

該当事項は、ありません。

X その他の注記事項

東日本大震災に係る補助金について

東日本大震災の被災者に対して実施した平成 28 年度全国健康保険協会災害臨時特例補助金交付要綱（平成 28 年 4 月 1 日厚生労働省発保 0401 第 3 号厚生労働事務次官通知）の 3 及び平成 28 年度東日本大震災復旧・復興に係る全国健康保険協会特定健康診査国庫補助金交付要綱（平成 28 年 6 月 9 日厚生労働省発保 0609 第 9 号厚生労働事務次官通知）の 3 に定める事業に係る国庫補助金受入額並びにその使用状況は以下のとおりであります。

（単位：円）

対象事業	受入額	使用状況 (*1)	残額 (*2)
医療保険事業	1,026,000	690,000	336,000
特定健診事業	2,000	—	2,000
合計	1,028,000	690,000	338,000

(*1) 船員保険における一部負担金等の免除、特定健康診査に係る自己負担金の免除等に

よる費用であり、保険給付費及び健診費用として計上しております。なお、金額については、開示時点における概算額によっております。

- (*2) 国庫補助金の未使用額は、翌事業年度以降に返還が見込まれるため、預り補助金として負債に計上しております。また、前事業年度の未使用額については、当事業年度に 401,000 円を返還し、前事業年度に計上した預り補助金（期首残高 401,000 円）を全額取崩ししております。

附属明細書

(船員保険勘定)

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細
2. 引当金の明細
3. 資本金、準備金、積立金及び剰余金の明細
4. 国等からの財源措置等の明細
5. 役員及び職員の給与費の明細

【船員保険勘定】

附 属 明 細 書

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却 累計額	当期償却額	差引期末 帳簿価額	摘 要
有形固定資産	建物	19,068,093	-	-	19,068,093	8,785,883	1,284,507	10,282,210	
	工具備品	11,536,838	1,256,233	2,172,493	10,620,578	4,103,932	1,798,972	6,516,646	
	計	30,604,931	1,256,233	2,172,493	29,688,671	12,889,815	3,083,479	16,798,856	
無形固定資産	ソフトウェア	713,898,039	78,405,192	-	792,303,231	636,720,795	39,004,977	155,582,436	注1
	計	713,898,039	78,405,192	-	792,303,231	636,720,795	39,004,977	155,582,436	

(注1) 当期増加額は、全国健康保険協会番号制度対応のためのアプリケーション開発業務によるもの(59,265,756円)等であります。

2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
貸倒引当金	222,338,943	210,593,241	33,345,098	188,993,845	210,593,241	注1
賞与引当金	25,523,114	27,786,585	25,523,114	-	27,786,585	
役員賞与引当金	1,374,692	1,455,916	1,374,692	-	1,455,916	
退職給付引当金	424,084,281	31,792,091	103,320	-	455,773,052	
役員退職手当引当金	612,739	105,630	108,000	-	610,369	
計	673,933,769	271,733,463	60,454,224	188,993,845	696,219,163	

(注1) 当期減少額のその他は、洗替法による戻入額を計上しております。

3. 資本金、準備金、積立金及び剰余金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
資本金					
政府出資金	465,124,590	-	-	465,124,590	
船員保険法第124条の準備金	38,752,407,486	2,610,107,257	-	41,362,514,743	注1
利益剰余金					
当期末処分利益	2,610,107,257	2,471,021,710	2,610,107,257	2,471,021,710	

(注1) 当期増加額は、前期利益処分による繰入額であります。

4. 国等からの財源措置等の明細

(単位：円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳		摘 要
		前受交付金計上	収益計上	
保険給付費等補助金	2,776,986,000	-	2,776,986,000	
特定健康診査・保健指導国庫補助金	10,509,000	-	10,509,000	
災害臨時特例補助金（医療保険）	690,000	-	690,000	
社会保障・税番号制度システム整備費補助金	48,516,000	-	48,516,000	
事務費負担金	163,247,000	-	163,247,000	
計	2,999,948,000	-	2,999,948,000	

5. 役員及び職員の給与費の明細

(単位：円、人)

区 分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	(44,772) 17,361,281	(-) 1	(-) 108,000	(-) -
職 員	(39,971,046) 289,895,701	(18) 45	(-) 103,320	(-) -
計	(40,015,818) 307,256,982	(18) 46	(-) 211,320	(-) -

(注1) 役員に対する報酬等の支給基準は、全国健康保険協会役員報酬規程及び全国健康保険協会役員退職手当規程によっております。

(注2) 職員に対する給与及び退職手当の支給基準は、全国健康保険協会職員給与規程及び全国健康保険協会職員退職手当規程、全国健康保険協会契約職員給与規程、全国健康保険協会臨時職員給与規程によっております。

(注3) 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。

なお、健康保険勘定、船員保険勘定を兼務する役員及び職員の報酬又は給与、退職手当については、各勘定に共通する経費として按分計上しておりますが、支給人員数は全て健康保険勘定に含めて記載しております。

(注4) 非常勤の役員及び職員は、外数として () で記載しております。